

▶株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.gmb.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。)
証券コード	7214

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

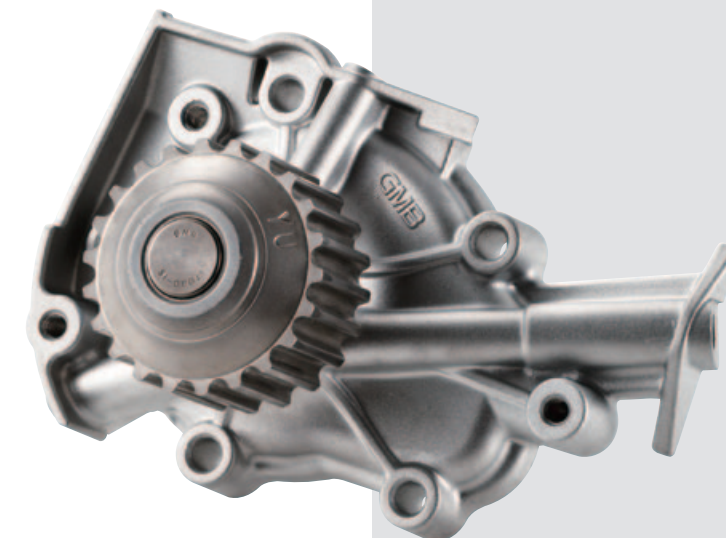
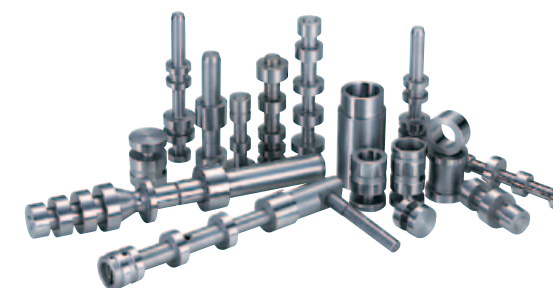
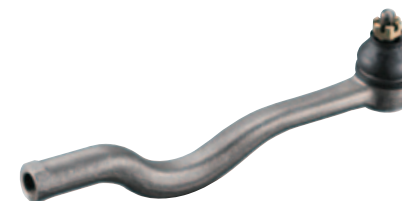
第54期 年次報告書

GMB REPORT

平成27年4月1日▶平成28年3月31日



GMB



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年4月の熊本地震により、被災されました株主の皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

ここに、第54期(平成27年4月1日~平成28年3月31日)の年次報告書をお届けいたします。

代表取締役会長 松岡 信夫 代表取締役社長 阪口 有一

Q1 当期の業績について、教えてください。

中国や欧州拠点で販売を伸ばすも
固定費増加と特別損失の計上で収益が悪化。

GMBグループは、新車用部品市場においては、中国や欧州拠点からの販売を増加することができましたが、第3四半期に入り中国国内需要の停滞を主要因とする顧客の生産調整の影響を受けました。補修用部品市場においては、順調に推移した日本からの海外市場への輸出も下半期は減速傾向となり、競争の厳しい米国市場では苦戦が続きました。収益面では、第3四半期における販売減少の影響が大きく、新

拠点の立ち上げコストに加え、海外拠点の人件費や減価償却費などの固定費増加や、日本における輸入コストの上昇や外貨建て資産・負債の評価による為替変動の影響も受けました。

この結果、当期の業績は、売上高が68,536百万円(前期比5.7%増)、営業利益は448百万円(同71.9%減)となり、経常損失は17百万円(前期は1,518百万円の利益)となりました。さらに、当社の保有する固定資産について減損損失900百万円を特別損失として計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純損失は1,697百万円(前期は364百万円の利益)となりました。

Q2 現在の経営環境について、お聞かせください。

自動車需要は急成長は見込めないものの、引き続き緩やかな拡大基調。

世界経済は、原油価格の下落や中国をはじめとする新興国経済の減速など不透明な状況が予測されます。自動車需要についても大幅な成長は見込めないものの、引き続き緩やかな拡大を続けるものと予想しております。そのような環境の中、自動車部品業界はグローバルな競争が一層激しさを増すことが予想されますので、今後さらにグローバルな生産体制を強化しつつ、競争力を維持・向上させるためのコスト

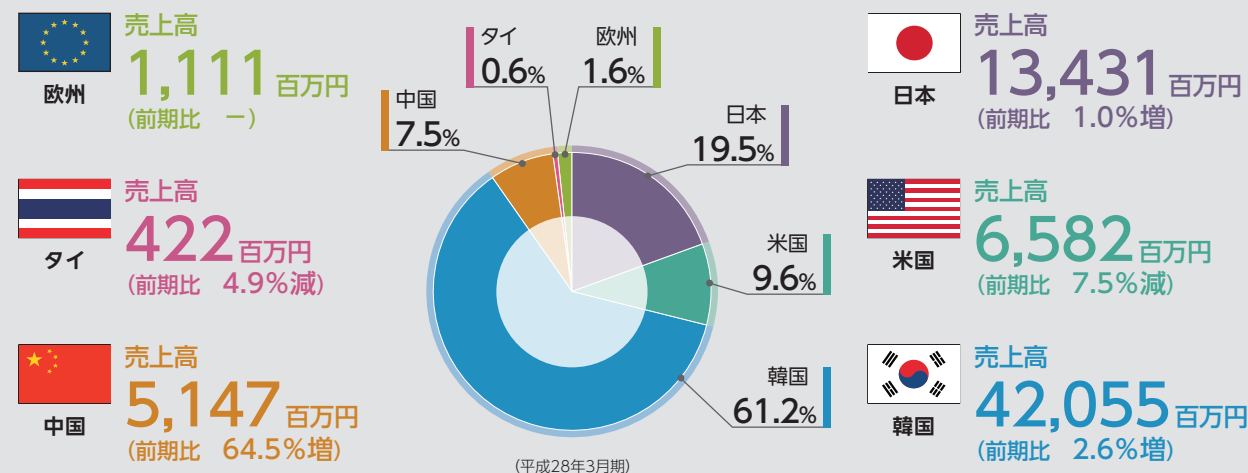
ダウンや技術革新をこれまで以上に推進していかなければならないと考えております。

Q3 来期の取組みについて、お聞かせください。

生産体制の強化、コスト改善、新製品開発に注力。

新車用部品市場においては、引き続き、新規顧客の開拓を進め、生産拠点の効率化や品質改善など生産体制の強化に努めてまいります。補修用部品市場においては、不採算取引の見直しや、コスト競争力強化をすすめることで、収益性の改善に取り組んでまいります。また、次世代に繋がる新製品や新技術の研究

セグメント別売上高構成



開発を推し進め、事業の拡大と事業環境の変化に柔軟に対応できる体制の強化に努めてまいります。

以上により、平成29年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高67,000百万円(前期比2.2%減)、営業利益2,000百万円(同345.5%増)、経常利益1,500百万円(前期は17百万円の損失)、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円(前期は1,697百万円の損失)を計画しております。

Q4 配当方針について、教えてください。

内部留保を確保しつつ、安定配当継続。

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開

と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としています。今期の配当については、上記の基本方針をもとに、業績を総合的に判断した結果、期末配当を見送り、1株当たり20円の配当とさせていただきますが、次期の配当金は年間40円とさせていただきますと予定であります。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、海外生産拠点の拡充、コスト競争力強化、市場ニーズに応える技術・製品開発体制の強化など、グローバル戦略の展開を図るために有効投資してまいりたいと考えております。

今後の取り組みについて

1 安定した収益力の確保

厳しい競争環境が続く補修用部品事業においては、不採算取引の見直しや、コスト削減、物流改善による収益改善を進め、新設拠点においては、本格的な量産体制を確立しつつ、現地調達比率を高めるなど、早期黒字化に努めていきます。

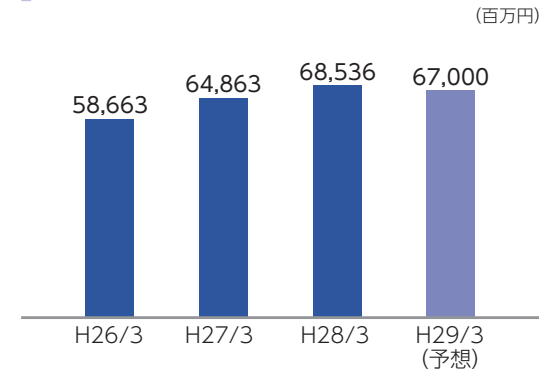
2 次の成長の柱を育成

環境規制の強化や燃費効率へのニーズの高まりに対応して、自動車に関連する技術も日々進化しております。GMBも機械部品・精密加工部品から電動化部品へ、さらにはモジュール部品へ開発の領域を広げ、次世代に向けた研究開発を推進していきます。

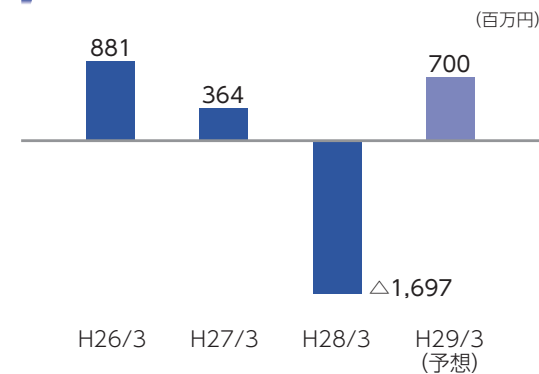
3 グローバル営業強化

既存製品の拡販による安定した生産量の確保をめざし、新規顧客の開拓をグローバルに推進します。特に、中国と欧州は複数の生産拠点の有効活用が可能であり、日本については、日韓が協力して新たな顧客の開拓をめざし、重点市場として営業活動を強化していきます。

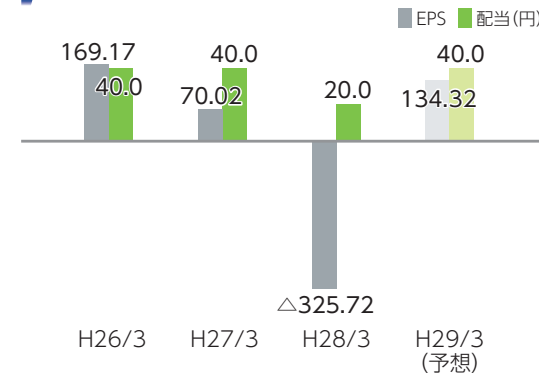
売上高



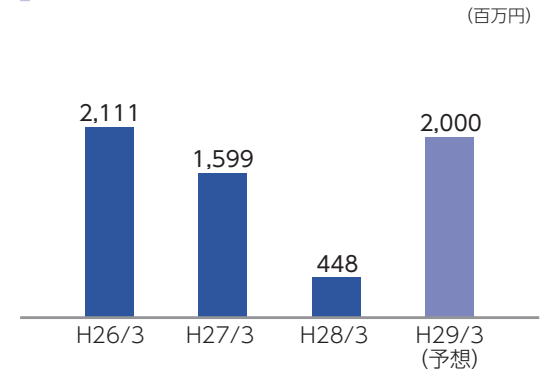
親会社株主に帰属する当期純利益



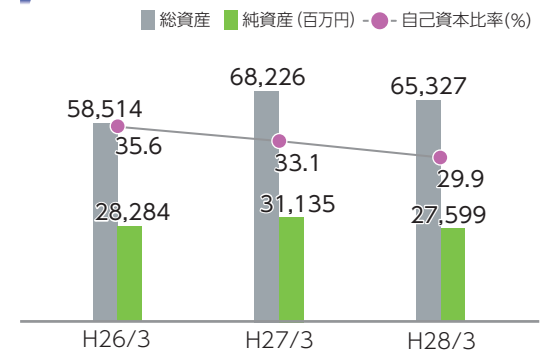
EPS/配当



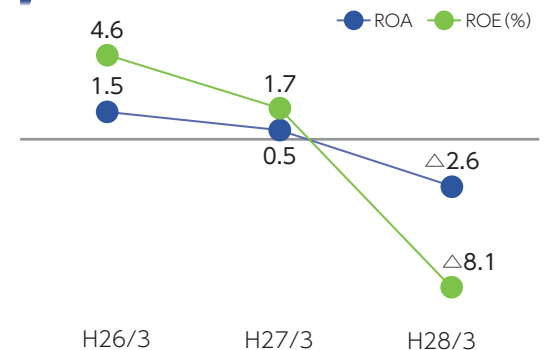
営業利益



総資産/純資産/自己資本比率

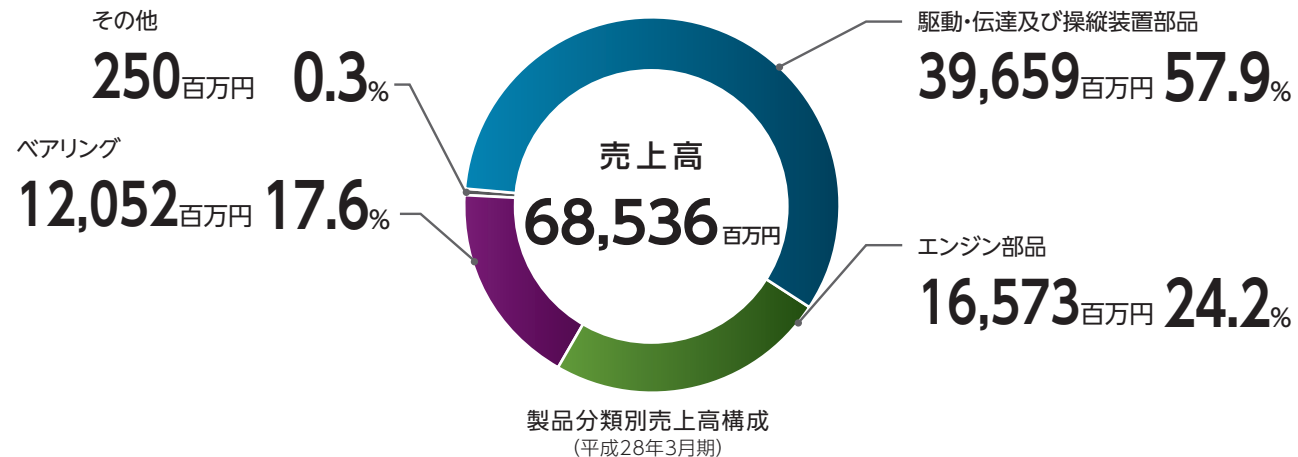


ROA/ROE

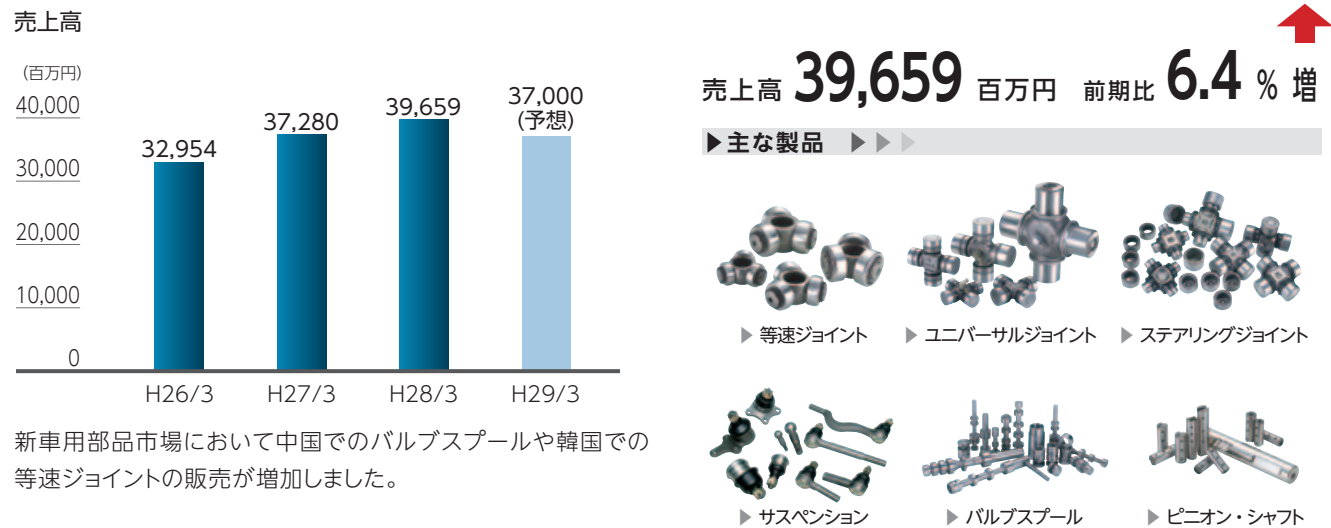


製品分類別の概況

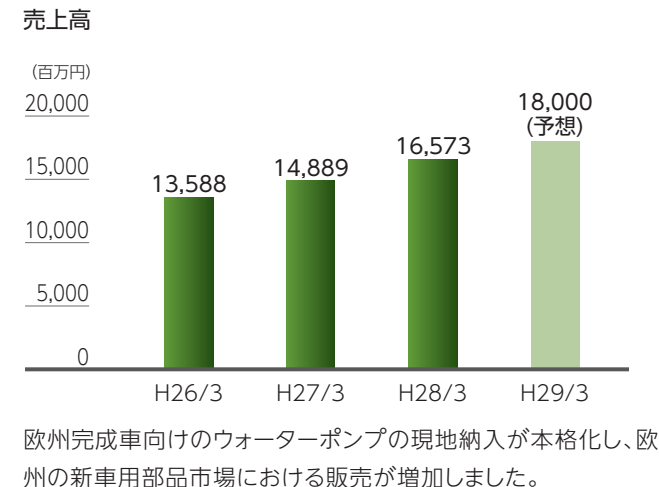
GMBグループは、独立系の自動車部品メーカーとして、駆動・伝達系やエンジン部品といった多様な機能部品を、新車用部品と補修用部品の両市場に向けてグローバルに製造・販売しております。



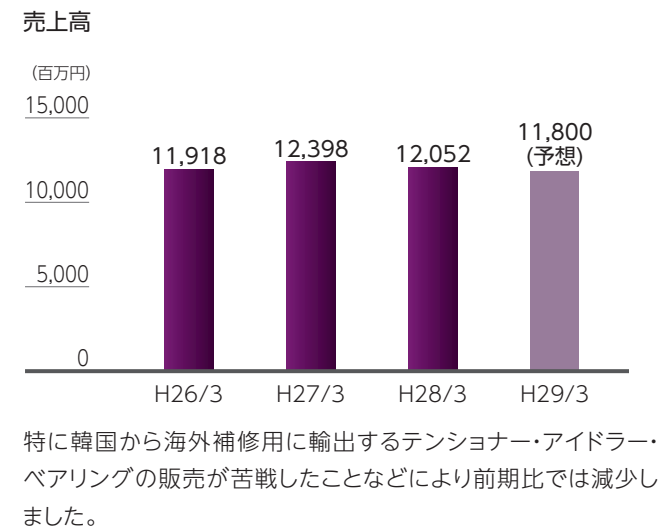
駆動・伝達及び操縦装置部品



エンジン部品



ベアリング



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成28年3月31日現在	平成27年3月31日現在
資産の部		
流動資産	36,068	37,143
POINT① 固定資産	29,259	31,083
有形固定資産	26,803	28,641
無形固定資産	445	421
投資その他の資産	2,009	2,020
資産合計	65,327	68,226

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
売上高	68,536	64,863
売上原価	58,245	54,417
売上総利益	10,290	10,446
販売費及び一般管理費	9,841	8,846
営業利益	448	1,599
経常利益(△は損失)	△17	1,518
特別利益	6	15
特別損失	929	81
税金等調整前当期純利益	△940	1,452
POINT② 親会社株主に帰属する 当期純利益(△は損失)	△1,697	364

科目	当期	前期
	平成28年3月31日現在	平成27年3月31日現在
負債の部		
流動負債	26,251	25,454
固定負債	11,476	11,637
負債合計	37,727	37,091
純資産の部		
株主資本	17,451	19,350
その他の包括利益累計額	2,070	3,204
非支配株主持分	8,078	8,580
純資産合計	27,599	31,135
負債・純資産合計	65,327	68,226

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
POINT③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,963	3,024
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,109	△6,402
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,088	3,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	△143	241
現金及び現金同等物の増減額	△1,201	△80
現金及び現金同等物の期首残高	4,938	5,018
現金及び現金同等物の期末残高	3,737	4,938
フリー・キャッシュ・フロー	△3,146	△3,377

当期のポイント

POINT①

46億円の設備投資を実施

当期は、韓国・中国の生産拠点の生産能力の増強に加え、新市場・新製品の開発を目的として総額46億円の設備投資を実施しました。

POINT②

減損損失を計上して収益が悪化

固定資産の減損損失900百万円を特別損失として計上したことなどにより、収益が悪化して親会社株主に帰属する当期純損失は1,697百万円となりました。

POINT③

営業キャッシュ・フローが減少

税金等調整前当期純損失が940百万円(前期は1,452百万円の利益)となったことや、たな卸資産が828百万円の増加となるなど、支出が増加したことにより、営業キャッシュ・フローが減少しました。

ホームページのご案内

ホームページでも当社の会社情報や最新のIR情報がご覧いただけます。



詳しい財務情報については、IR情報ページをご覧ください。

▲トップページ
<http://www.gmb.jp>



▲IR情報ページ
http://www.gmb.jp/corporate/ir_info/

株式の状況

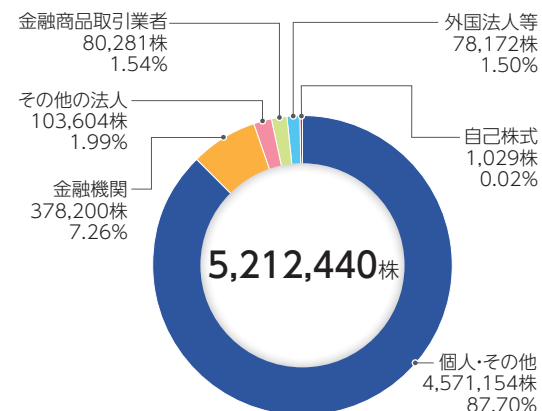
発行可能株式総数	19,000,000株
発行済株式の総数	5,212,440株
株主数	2,669名

●大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松岡 信夫	1,096,775	21.0
松岡 光子	416,375	8.0
松岡 栄子	240,350	4.6
GMB従業員持株会	198,170	3.8
松岡 祐広	120,000	2.3
松岡 祐吉	109,125	2.1
金本 順子	98,750	1.9
庄司 聖吾	93,250	1.8
松岡 百合子	86,625	1.7
具 綾子	80,000	1.5

(注) 持株比率は、小数第2位以下を四捨五入して表示しております。

●所有者別株式分布状況



会社概要

商号	GMB株式会社
会社設立	昭和37年5月
資本金	838,598,000円
従業員数	連結 2,787名 単体 360名

役員 (平成28年6月24日現在)			
代表取締役会長	松岡 信夫	代表取締役社長	阪口 有一
取締役副社長	香田 剛昌	専務取締役	金本 現一
専務取締役	桑村 周二	常務取締役	松岡 祐吉
常務取締役	松波 誠	取締役	鄭 世泳
取締役	梁 亨恩	常勤監査役	大西 昭
監査役	浜本 章	監査役	濱田 誠一

事業所	本社・奈良工場 〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3 TEL.(0745)44-1911(代) FAX.(0745)44-1930 Web Site http://www.gmb.jp
	八尾工場 〒581-0814 大阪府八尾市楠根町4丁目36番地3号 TEL.(072)997-1521(代) FAX.(072)997-2481
グループ会社	GMB NORTH AMERICA INC.(アメリカ ニュージャージー州) GMB KOREA CORP.(韓国 慶尚南道昌原市) AG TECH CORP.(韓国 慶尚南道昌原市) 青島吉明美機械制造有限公司(中国 山東省萊西市) 青島吉明美汽車配件有限公司(中国 山東省即墨市) 吉明美(杭州)汽配有限公司(中国 浙江省杭州市) 吉明美汽配(南通)有限公司(中国 江蘇省南通市) THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.(タイ プラチンブリ県) THAI KYOWA GMB CO.,LTD.(タイ プラチンブリ県) GMB RUS TOGLIATTI LLC(ロシア サマラ州トリアッチ市) GMB ROMANIA AUTO INDUSTRY S.R.L.(ルーマニア アルジェシュ県)

GMBネットワーク

